



スポーツ 高島

発行日/平成 23 年 1 月 14 日

編集・発行/高島町体育協会広報部

NO. 29



第56回山形県縦断駅伝競走大会

大会2日目

優勝を果たす

春の出羽路を駆け抜ける山形県縦断駅伝競走大会(4月27日～29日)において、高島町・南陽市・川西町からなる南陽東置賜チームが大会2日目に優勝。3日間の総合では3位の成績を収めました。

昨年の準優勝から今大会では初優勝への期待が、大きいものがありました。総合優勝を果たした北村山との合計タイム差は僅か2分31秒、初日・2日目のレースでは首位を独走するなど、感動と興奮のレース展開でした。特に、初日レースで優勝を目前としながらも予想もしないアクシデントにより3位に後退しましたが、2日目では選手一人一人の力走により、中川敦史選手(二井宿)が長井市ゴールにトップで入りました。最終日は、地元の力強い声援を頂きながら初優勝を狙い力走しましたが、残念ながら総合3位の成績でありました。来年こそは、悲願の初優勝に向けてチーム一丸となって頑張るって欲しいです。

最後になりますが、大会期間中は、選手の応援に多くの方々に駆けつけて頂き深く感謝申し上げます。



年頭のご挨拶



高島町体育協会会長
吉田 憲一

あけましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては希望に満ちた新年をお迎えの事と心よりお慶び申し上げます。

皆様もご存じの通り、体育協会ではジュニアの育成に取組み数年が経ちました。この間、各競技団体及び各学校より協力をいただき世界大会で活躍できるトップアスリートが芽生えてきました。米沢東高等学校フェンシング部の日下夕佳さん(泉岡)が、今年度の世界選手権大会に日本代表として出場し、活躍してくれました。

体育協会加盟の競技団体の選手諸君に大きな刺激を与えてくれました。

今後日下さんには、更なる活躍を期待しております。又競技種目を問わず、日下さんの後に続くアスリートが誕生してくれる事を願っております。

又、昨年度より実施しましたハーフマラソン大会、更に第49回全日本50km競歩高島大会も、高島で開催されて第20回の記念大会として実施する事が出来、県内外より多くの選手を迎え開催出来ました事、心より感謝しております。

大会の盛りあげに協力して下さいました町民の方々に感謝しております。当体育協会では引き続きジュニアの育成に努力してまいりますので町民各位ご理解とご支援を今後ともお願いし、新年のご挨拶といたします。

「スポーツ講演会」について

演題「これからの指導者のありかたについて」

講師 富田 幸博 氏
日本体育大学教授

- 平成22年度振興部の事業として、教授を講師に迎え、9月3日に開催を致しました。先生は、上山市出身で、スポーツ経営管理・スポーツ行政を専門に教えておられます。スポーツ少年団監督・指導者、体育協会各競技部指導者、体育指導委員等を中心として60名の参加を得て、行われました。これからの指導者として心がけなければならぬ重要な視点・考え方の十ヶ条が示されました。
- 一、はじめさだけでなく、面白さ。
- 二、頑張りだけでなく、リラックス。
- 三、地道さだけでなく、派手さを。
- 四、高度化が大衆化でなく、両方を。
- 五、地域に根差すでなく、地域へひらかれるを。
- 六、学校が社会かでなく、学校と社会の間を。
- 七、周りを見つめるでなく、辺りを見わたすに。
- 八、見るからやるだけでなく、ゆったり見たりへ。
- 九、一人で全部をから、みんなで全部を。
- 十、一か所でみんなから、あちこちでみんながへ。子供達にスポーツを指導するうえで、とても勉強になり、本当に有意義な講演会でした。



高島小学校5年
井上 舞 さん

姉妹で全国大会へ

まほろば尚武剣道少年団
団長 遠藤良二

舞さんのお姉さんも、4年前に同じ県予選会で優勝している。今回、舞さんが優勝したことで、姉妹での優勝は初となる。まほろば尚武剣道少年団としては、これまで3人の女子が全国大会に出場した。



10月上旬に、遷都一三〇〇年で賑わう奈良市で開催された選抜大会。全国

理事研修 レポート

9月11日～2日間に渡り、NPO法人石巻体育協会を研修させていただきました。

NPO法人としての設立(3月12日)の意図や、活動する目的や、指定管理者制を導入するためのメリットがあるのか又それに伴い規制等はあるのか、取組と活動内容など伺ってまいりました。

大会に監督として同行できることは、指導者冥利に尽きる。初戦の埼玉県代表に一本勝ちし、子どもの秘められた計り知れない力を見ることができた。

勝ち目標であって目的ではない。この経験を将来に渡って活かして欲しい。

高島小学校6年

猪野ちひろ さん
相田 輝 くん

今年も全国大会に出場

高島町柔道会

代表 杉沼憲一

近年活躍が目立つ、高島柔道スポーツ少年団は本年度も赤湯ふるさと祭り柔道大会、川西ダ

石巻体協の場合は、統括する1市6町16万人、団員数も相当数で今までの市町村の規約もバラバラでそれぞれに理解をもらい一律にするのが大変だった様です。

資本基金となる金額は自主財源となりあまり負担は無く、助成金、交付金が多かったようです。各大会には延べ人数で2万5千人(スポ少)と2万人の一般の参加者(51大会)と多くの参加人数があるそうです。現在の事務担当役員は3名程で奮



リヤ杯など地区大会で、団体優勝を果たし、山形県少年柔道大会で団体準優勝、6年生女子45kg級で猪野ちひろさんが2年連続優勝、

6年生男子50kg超級で相田輝くんが優勝し北海道札幌市で、開催された全国小学生学年別柔道大会に山形県代表で出場し活躍しました。これも普段から、大会で優勝するという明確な目標を掲げ、短い練習時間で一生懸命稽古に励んできた成果ですが、今後も礼儀を重んじ、思いやりの精神を養って貰いたいものです。

闘して対応しているとの事でした。



体育協会各部だより

卓球

「仲良くなりたい人と」卓球

「愛ちゃん」でおなじみの福原愛選手などの活躍により、日の目を見るようになってきた卓球。気軽に楽しめる生涯スポーツとしても人気があり、我が高畠町でも小学生から一般の方々、老若男女を問わず、多くの人に楽しまれています。



ラケットとボールと卓球台、そして一緒に楽しむ相手がいれば簡単に出来るコミュニケーションスポーツです。人の関わりが薄い昨今……。親子で、またはお孫さんと一

緒に。もっと関わりたいなど思ってる人を誘って気軽に「卓球」を楽しんでみてはいかがでしょうか。

ゲートボール連合

認知症予防スポーツ



今年も、11月5日の町体育協会会長杯大会を最後に、各種大会（置賜大会、町大会、その他地区大会）等を終了。年々高齢化が進み、会員も

少なくなっていますが、元気な方の参加ですので笑いのたえない仲間です。

競技の中では短い時間で判断行動する（10秒ルール）必要

があるのでボケ防止に効果ありと自負している方が多い。冬期間は体育館や公民館等で室内球で練習し、春を待ちます。

レスリング部

常勝の復活を目指す

スポーツ少年団の指導を通して、レスリング人口と底辺を拡大すると共に、中学校・高等学校へと一環した指導を目的としながら、今年度もさまざまな活動を行ってきました。

その中で今年も、山形県少年少女スポーツ交流大会において4年ぶり14回目の団体優勝をすることが出来ました。最近、団員不足もあり優勝から離れていましたが、今年も練習の成果を発揮出来ました。



陸上競技協会

飛躍の応援へ

今年度も陸上教室やロードリレーを行いました。陸上教室は10年を数え、ロードリレーも地区めぐり駅伝後の体育の日の行事として定着し一般参加者も徐々に増えてきています。ロードリレーは幅広い年代で参加者が増えており、今後もっと参加しやすく、楽しめる大会として健康体力作りの大会として運営していきたいと思えます。



松川野球スポーツ少年団

スポ少から

松川野球スポーツ少年団は、監督・コーチ9名の指導者と29名の団員で主に



水・土・日曜日に練習を行い、各種大会や練習試合にも積極的に参加しています。今年もJC杯、公德杯、東北新人町大会での準優勝、10月に行われた町新人戦での優勝と、練習の成果を存分に発揮しています。子ども達は技能の向上はもちろん、あいさつや団員同士の絆を深める事にも力を入れています。保護者会事業では、4月の歓迎会や芋煮会等を通して子ども達の思い出に残る行事を協力し合って運営しています。

全日本競歩高島大会

第49回の全日本50km競歩大会が10月31日(日)に行われました。

今回の大会で一般女子10kmの優勝者は瀨瀬真寿美選手(大塚製薬)は約一ヶ月後広州アジア大会(11月23日実施)の女子20km競歩で銀メダルを獲得されました。又前年の高島大会同種目優勝の川崎真裕美選手(富士通)も4位入賞するなど高島で活躍した選手がアジア大会でも見事な結果を残して下さいました。



身近な町内で全日本のトップ選手が競い、オリンピックや世界陸上・アジア大会で結果を残すことは町民はもちろん運営している私たちにも大きな励みとなるものです。中学生の選手も徐々に力をつけてきており今後に期待したいと思います。引き続き関係各位のご協力よろしく願います。

全日本シニアソフトボール大会 開催

全国から選抜された、強豪48チームが、10月2日～3日まで、南陽市、長井市、白鷹町、高島町の4会場で、2日間に亘り熱戦が繰り広げられました。

高島町ソフトボール協会では、全国大会開催の為に4月より、運営会議を重ね会場の整備では、グラウンドの雑草除去に2週間にわたり、雨の日も毎日沢山の方がたに出て頂き準備しました。大会前日参加者が下見に訪れて「オーいグラウンドだなー」の一言で皆の顔が笑顔に変わりました。競技も無事に怪我される方も無く終了出来ました。



選手方からは果物等も美味しく頂き、歓迎ぶりが嬉しかったと笑顔で帰って行かれました。スタッフの皆さん、会場準備、運営、後片付けまで大変ご苦労様でした。

協賛者ご芳名

- 高喜工務店(株) 原 田 春 二
- 大浦工業(株) 小 口 稔
- 四季の里 幸 新館 吉 田 憲 一
- 太助寿司米沢店 コバヤシ書店
- カメラのたけだ F・M・Pカンノ(株)
- 島津鋳金製作所(株) (株)よねおりかんこうセンター
- エビスヤ旅館 福 美 屋
- (有)寄清堂印刷 さ が 江 屋
- 福島建設(株) (有)高砂屋菓子店
- エコーハイテク(株) (有)島津牛乳店
- 三 奥 屋 (株) 旬業厨房 たかはた家
- 平 昭 男



平成22年度 高島町体育協会役員

会長	吉田 憲一	事務局次長	大浦 良一
副会長	中川 幸一	事務局員	大浦 由紀夫
副会長	島津 良平	会計	我妻 節子
副会長	菊地 秀徳	監事	我妻 節子
副会長	高橋 正人	監事	安部 豊
副理事長	高橋 英助	監事	大塚 吉雄
副理事長	高橋 信	◇常任理事	卓 球
副理事長	荒井 英明	スキー	近野 弘
副理事長	中川 広幸	陸上	我妻 徳一
事務局長	金子 修	柔道	杉 沼 憲一
		野球	大浦 良一
		スホ少本部	山木 富之
		バスケット	高木 健祐
		ソフトボール	小室 和彦
		ソフトテニス	工藤 陵市
		ゲートボール	鈴木 正蔵
		卓球	嶋 倉 隆
		レスリング	中川 広幸
		ドラムドム	舟 山 堯
		剣道	遠藤 良二

編集後記

本誌発行に対して、関係各位の方々に原稿の投稿に感謝申し上げます。本年度各方面の活躍を、一度の本誌で紹介しきれないところも、有るかと思えますが、編集委員一同競技全般を広く取材して来ました。掲載させて頂いた方々の今後の活躍を期待し、スポーツ全般の啓蒙、又活動を本誌で少しでも応援出来れば幸いです。



編集委員

- ◎荒井 英明 金子 修
- 山木 富之 我妻 徳一
- 大浦 良一 我妻 節子